



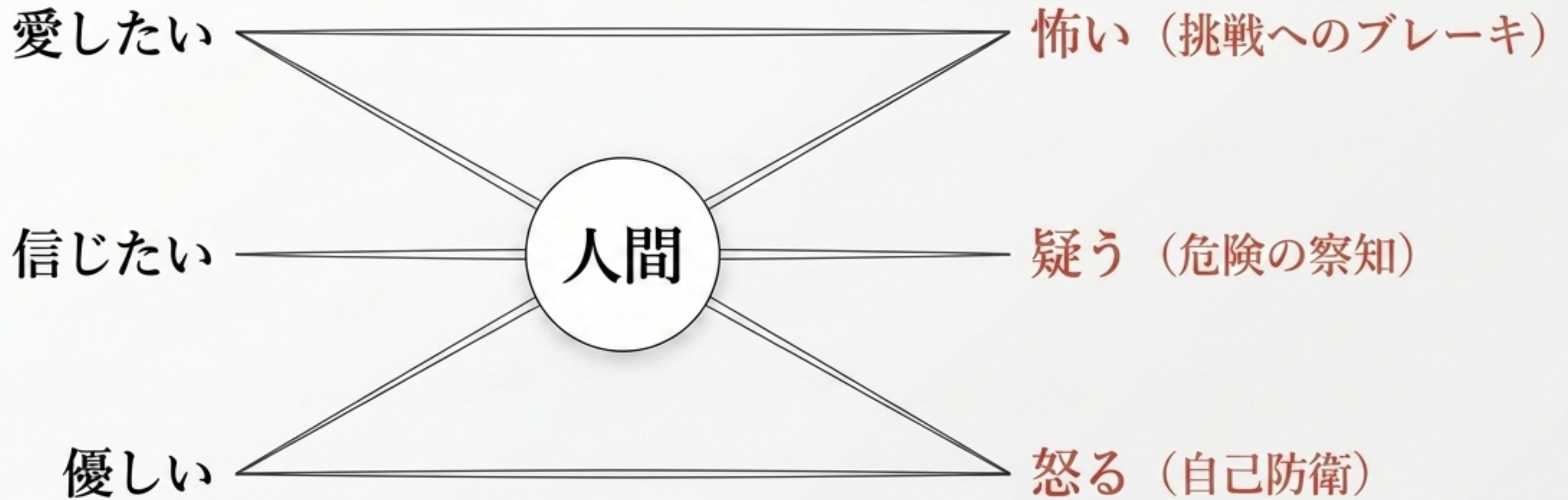
TAOISM ～ 葛藤という名の進化 ～

人はなぜ迷うのか。

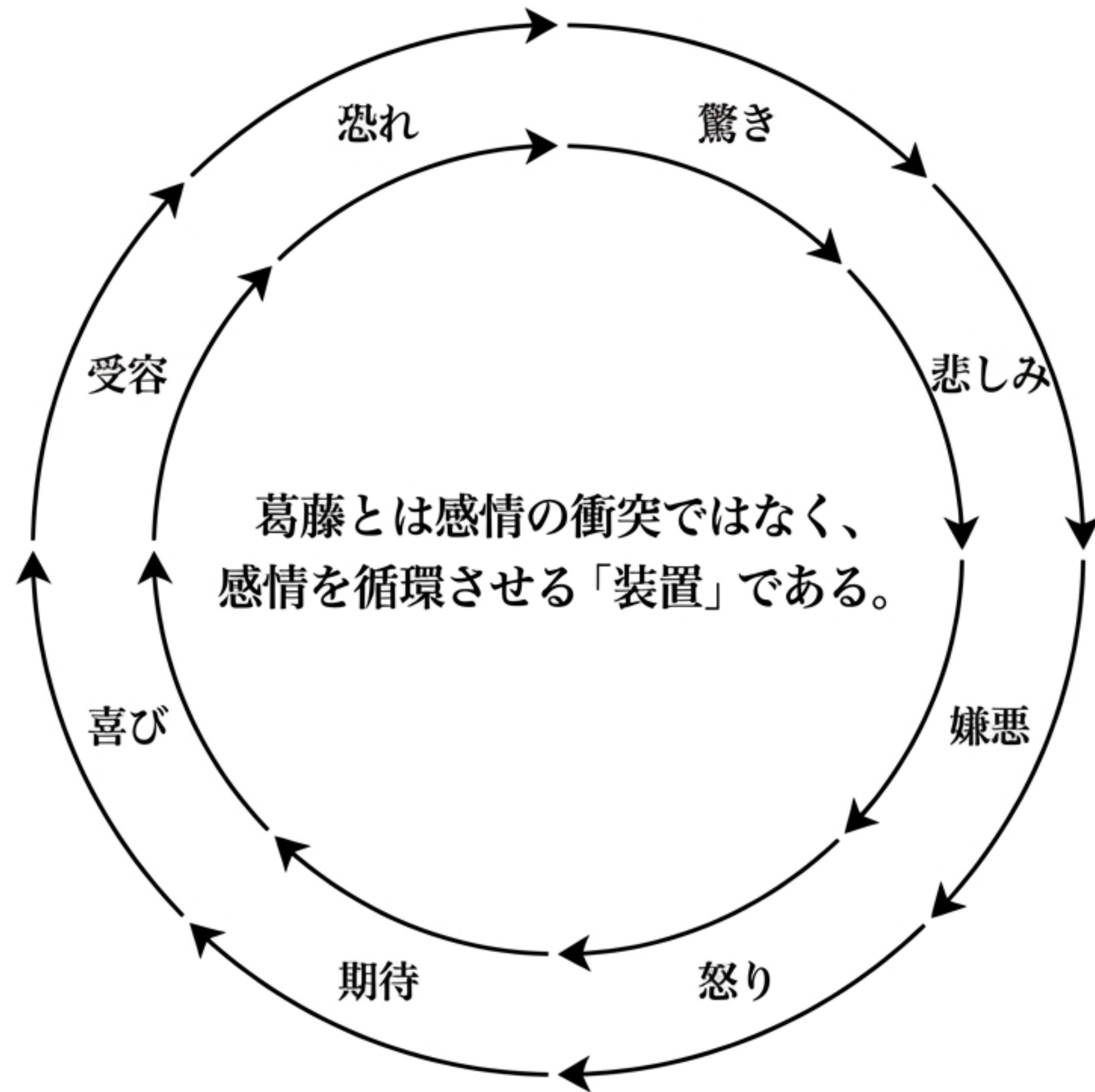
一般認識
葛藤＝弱さ
優柔不断 / 未熟の証

葛藤→成長

TAOISMの認識
葛藤＝進化の証
未完成ではない



これは矛盾ではない。人間本来の「構造」である。



感情

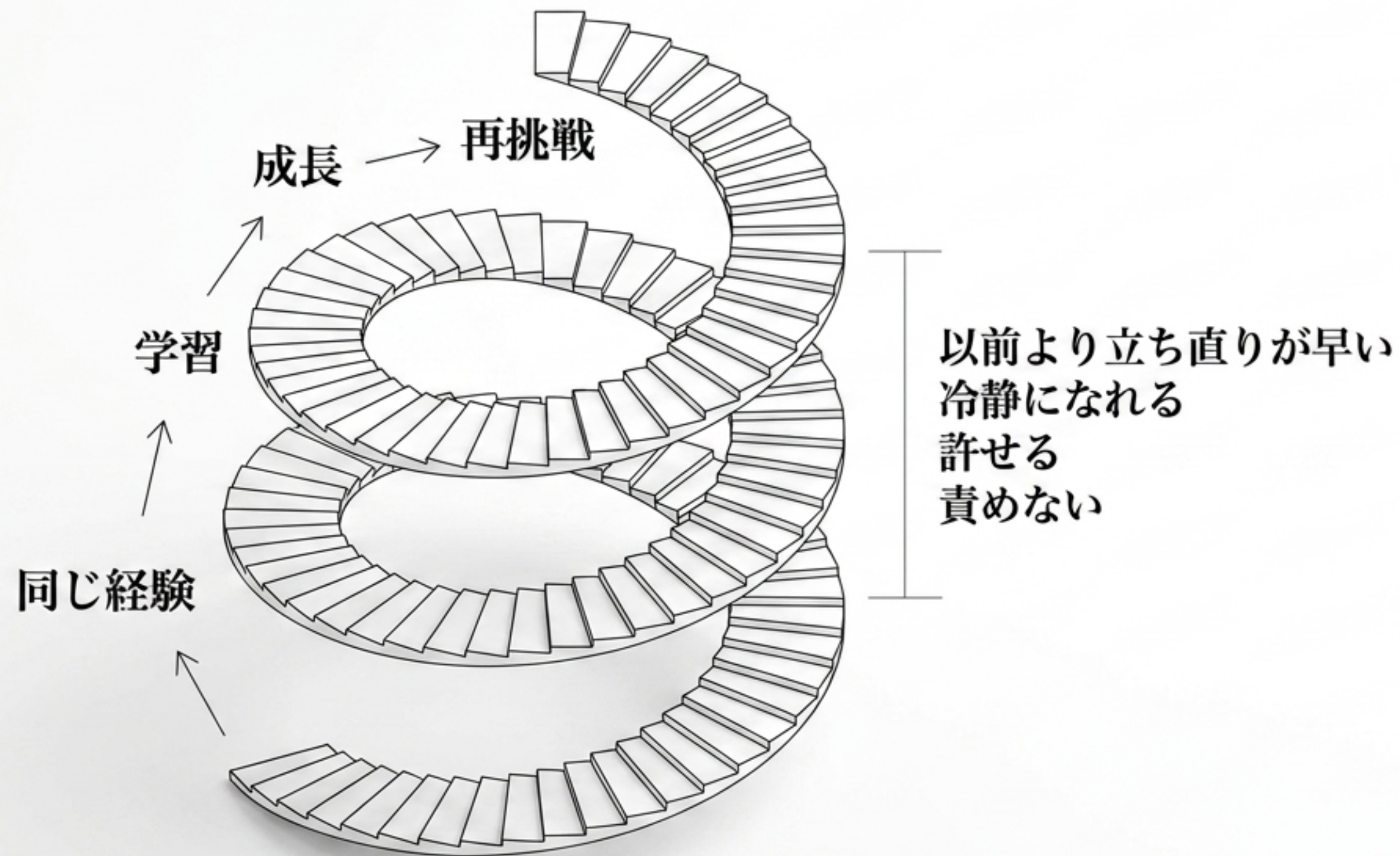
恐れ
驚き
悲しみ
嫌悪
怒り
期待
喜び
受容

変換
フィルター

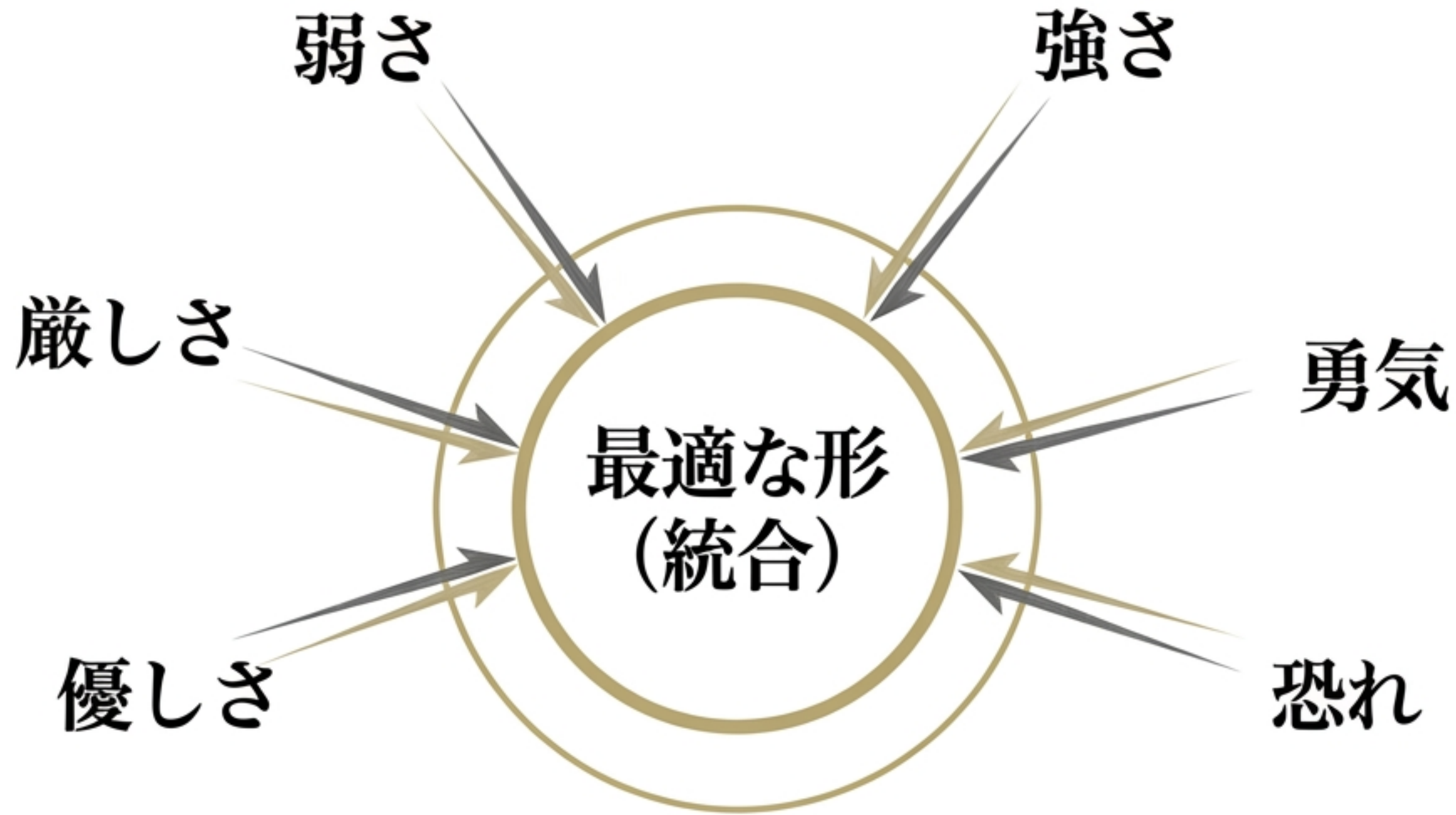
行動

服従
畏怖
落胆
呵責
攻撃
楽観
幸福
愛

循環する感情は、最終的に具体的な行動へと変換される。



同じ場所に戻ったのではない。螺旋を描きながら上がっている。



葛藤とは壊れている状態ではない。
内部で統合が起き、整っている途中である。

愛（状態）

守れる状態

支えられる状態

折れない状態

悲しみ・怒り・恐れ（葛藤）

恐れ・悲しみ・怒りを知らなければ、これらの状態には至れない。



[対象] 筋肉



[価値]
成長



[対象] ダイヤモンド



[価値]
輝き

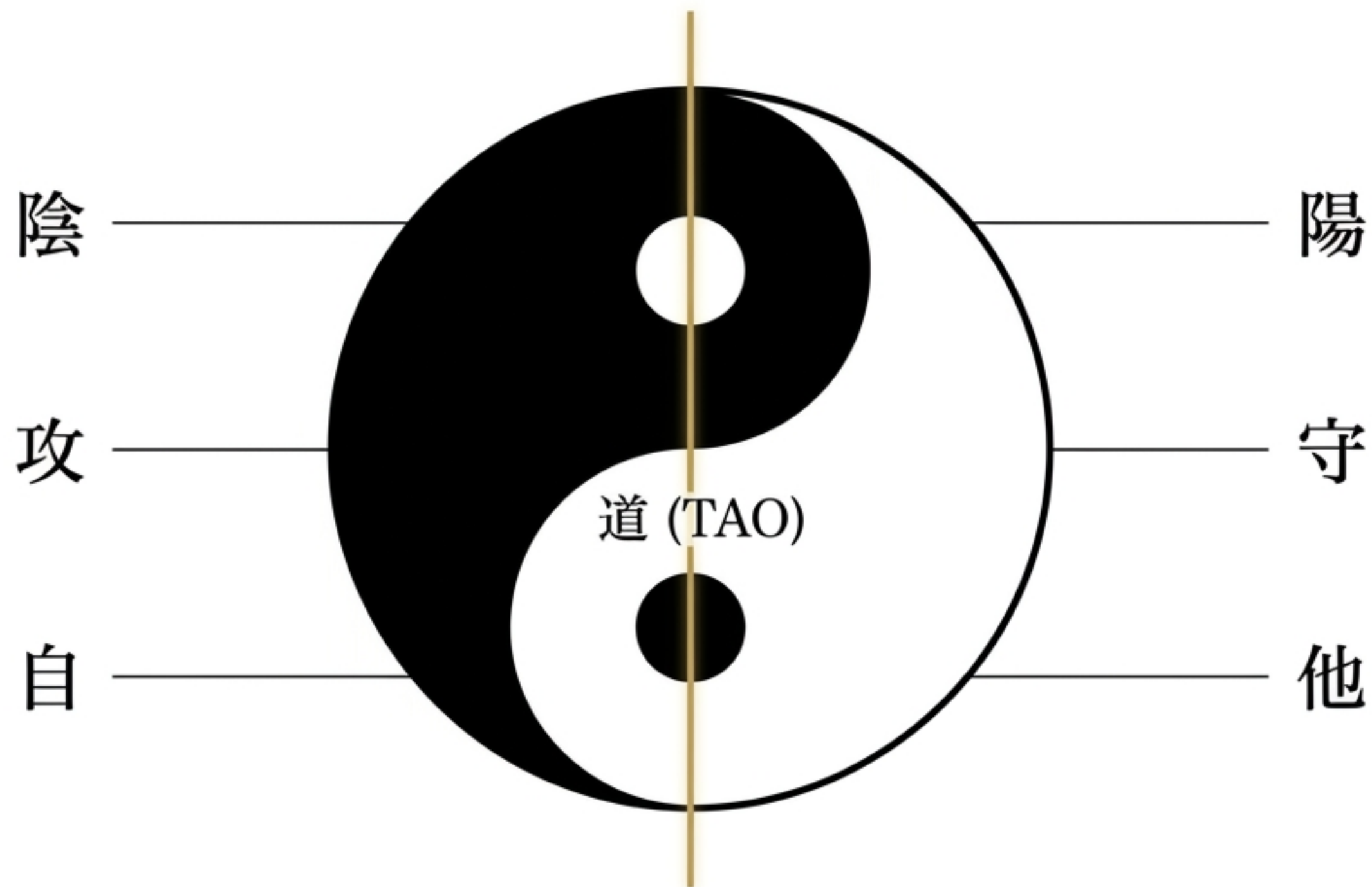


[対象] 人間

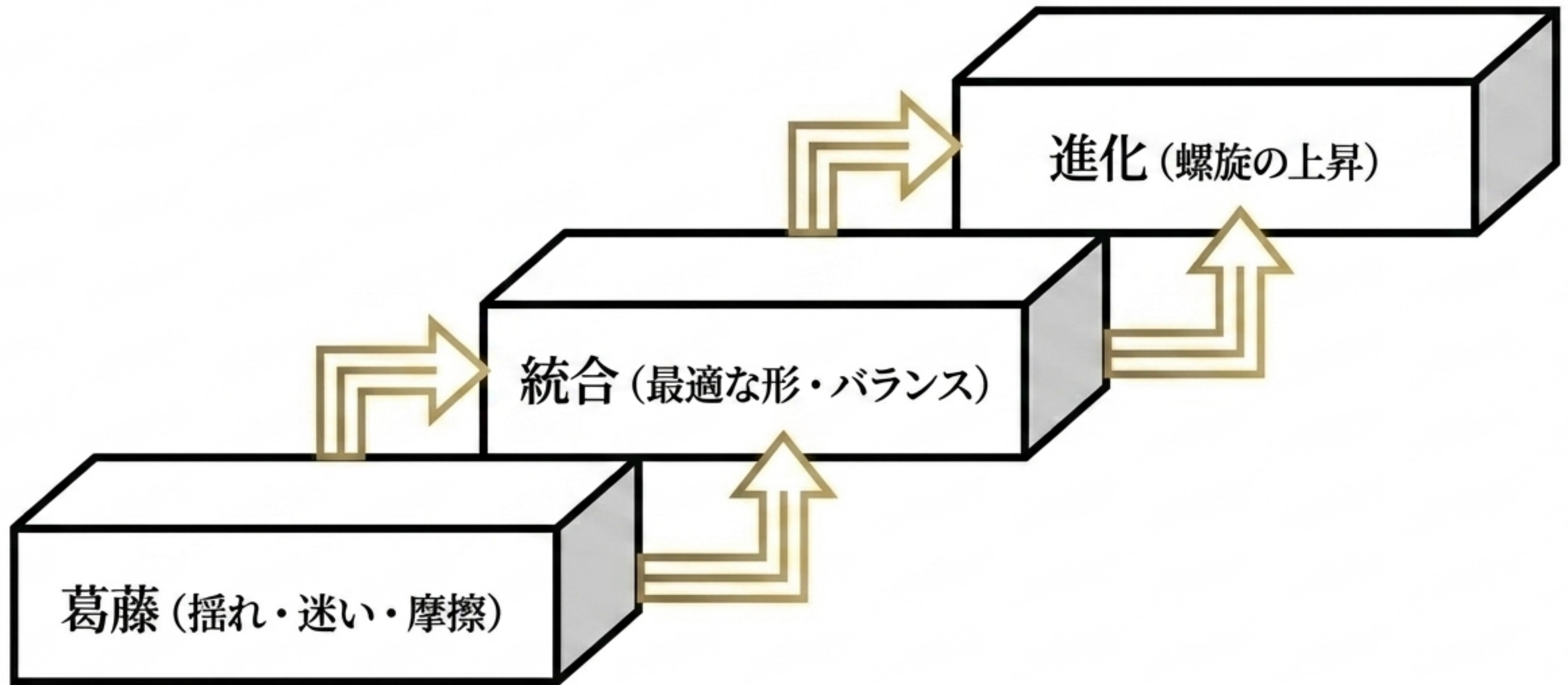


[価値]
磨かれる (進化の摩擦)

葛藤を避ければ成長も止まる。葛藤は痛みではなく摩擦である。



すべては対になっている。矛盾は未熟ではなく、統合の前兆である。



自分と他者、守りと攻め。そのバランスは葛藤の中でしか身につかない。

焦らなくていい。迷いながらでいい。揺れながらでいい。

葛藤とは敗北ではない。

進化している証である。